

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和4年度第1回子ども・子育て会議			
開催日時	令和4年10月25日（火） 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午前11時30分			
開催場所	ふじみ野市役所第3庁舎 C201・C202会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	小栗 俊之	事務局	皆川 恒晴
	副会長	山城 いづみ	〃	土屋 範久
	委員	町田 千優	〃	齊藤 隆之
	〃	福元 啓子	〃	西 宏和
	〃	小林 倫子	〃	細田 春恵
	〃	五十嵐 久美	〃	関根 寛之
	〃	戸塚 咸子	〃	坂寄 絵理
	〃	水流 幸子	〃	鈴川 貴洋
	〃	西野 和良	保育課長	小川 正樹
	〃	朝倉 美由紀	障がい福祉課長	川島 美紀
	〃	渡部 有希	保健センター所長	星野 光
	〃	川目 美佳子	保健センター主幹	三原 加奈
会議の議題	（1）第2期ふじみ野市子ども・子育て支援事業計画実績報告及び中間年による数値の見直しについて ①子ども・子育て支援に係る目標事業量の設定 ②子ども・子育て支援事業計画施策一覧進捗管理表			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	別添のとおり			

事務局		こども・元気健康部子育て支援課
議事の確定	確定年月日	令和4年11月4日
	記名押印 又は署名	役職名 会長 小栗 俊之 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。

別紙

発言の要旨

発言者	発言の要旨
小栗会長	<p>1 開会（子育て支援課長挨拶）</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議題 それでは、議題（1）第2期ふじみ野市子ども・子育て支援事業計画実績報告及び中間年による数値の見直しについての①子ども・子育て支援に係る目標事業量の設定について説明をお願いします。</p> <p>【会議資料Ⅰ】 第2期ふじみ野市子ども・子育て支援事業計画 量の見込みと確保内容 事務局より説明。</p>
小栗会長	<p>教育・保育の量の見込みと確保の内容と、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容の2つのカテゴリーの説明がありました。</p> <p>令和3年度もコロナの影響があって以前より減少している実態や、これからは元に戻るといことが推測できると思います。</p> <p>ご質問、ご意見、ご感想等あればお願いします。</p> <p>審議事項ですので、委員の皆様からよろしいのはいか。の一言だけでも構いませんので、ご意見ををお願いします。</p>
山城副会長	<p>説明のあった内容はよいと思います。</p> <p>1点だけ、かびら保育園の場所はどこにあるのでしょうか。</p>
小川課長	<p>駒林にある東入間休日診療所の少し内陸側に位置しています。</p>
山城副会長	<p>今後は保育園が増える見込みはあるのでしょうか。</p>
小川課長	<p>現状では、増える見込みはありません。</p>
川日委員	<p>養育支援訪問事業について、実際に訪問員として訪問をしています。令和3年度は外に出られず、子育ても大変だけど誰かと話したいという気持ちや、誰かと繋がりたいという思いを感じました。</p>

土屋課長	<p>養育支援訪問は、行政側で支援を要する家庭を見つけているのか、それとも家庭からのSOSをきっかけとして繋がっているのかを教えてください。</p> <p>養育支援訪問は子育て支援課のケースワーカーが家庭状況の確認をし、3か月という期間を目途に生活の立て直しを目指して導入しています。そのため、子育て支援課で必要性を確認し導入をしています。</p>
渡部委員 水流委員	<p>説明内容でよろしいと思います。</p> <p>こんにちは赤ちゃん事業について、私たちの時は自治会から2人来ていただいて話を聞いてもらいましたが、今も自治会の方が行っているのでしょうか。</p>
三原主幹	<p>4か月健診の案内を民生委員が行うという形で平成30年度まで事業を行っていました。</p> <p>事業が始まった平成21年度から保健師と助産師も訪問しており、併せて自治会からも民生委員が訪問をするという実施形態でした。現在は助産師と看護師のみで訪問をしています。</p>
戸塚委員	<p>内容は良いと思います。様々なところにコロナの影響が現れていると思います。</p>
五十嵐委員	<p>コロナの影響があり、ニーズの見込みが難しいと思います。訪問事業等、コロナ禍でニーズが少なかった場合、それに代わる提案も必要かなと思いました。</p>
土屋課長	<p>市民からのニーズについて、コロナ禍で減っている部分は、その内容を精査しながら実施していきたいと考えています。</p>
西野委員	<p>コロナの影響というのは、医療面でも実感しています。説明のあった内容については十分納得できるものでした。</p>
小林委員	<p>保育園で病児保育事業を実施していますが、コロナ禍では利用人数が0人ということが続いていました。</p> <p>最近では全盛期には程遠いですが利用者があり、事業が再開できたという気がしています。他施設の情報は入ってこないなので、他施設での現状を知りたいです。</p>
小川課長	<p>かぴら保育園は、事業が始まったばかりなので利用者は少ないです。富士見市の2施設の実態もふじみ野市と同様となっています。</p>
福元委員	<p>ニーズが大幅に増加している養育支援訪問事業の件数を見て、コロナ禍での親の不安もあると思いますが、こ</p>

こには色々な問題が隠れていると思います。

育てにくい子どももいると思うし、親の問題、子の問題、家庭の問題等複雑に絡み合っていることもあると思います。訪問したときにきめ細やかに長い目で見て、どこに繋げるかがポイントかと思います。ただ、きめ細やかにするとやらなくてはいけないことが増えるので、これからも件数は増えていくと思います。この部分について、私は注目しています。

土屋課長

訪問員からの報告を見ると、親が自分の親から育児手技を学んでいないケースが多いことを実感します。また、周りとの交流が少ないため情報が入ってこず、子どもとの接し方が難しいという親が増えていると思います。訪問員が育児手技を教えながら、育児がうまく回るように指導を実施しています。3か月を目途に継続の判断を行っていますが、軌道に乗るケースが多いです。保育所入所が決まったケースもあり数は減っていますが、継続していきたいと考えています。

福元委員

子どもに何かがあるケースもあるし、親に何かがあるケースもあると思うので、今後も支援を考えていただきたいです。

町田委員

コロナの影響が大きくニーズの把握が難しいと思います。説明のあった内容を長い目で見ていく必要があると思いました。

小栗会長

今、委員の皆様から意見をいただきましたが、①子ども・子育て支援に係る目標事業量の設定についてはご承認いただいたということによろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは②子ども・子育て支援事業計画施策一覧進捗管理表について説明をお願いします。

【会議資料Ⅱ】

第2期ふじみ野市子ども・子育て支援事業計画施策一覧進捗管理表
事務局より説明。

小栗会長

資料の説明をしていただきました。

いくつかの施策で、令和6年度の目標を再設定したいという説明がありましたが、人的資源も予算も限られているので、目標の上方修正をするだけではなく、重点目標を設定する等しながら実施していただけたらと思いま

	す。
渡部委員	ご質問、ご意見、ご感想等あればお願いします。 施策41の子育て短期支援事業の実施について、事業内容やNPO法人の概要を知りたいです。
土屋課長	川口市にあるNPO法人病児保育を作る会に委託をし、利用会員とサポート会員をマッチングする事業を実施しています。
渡部委員	報告にあったとおり、令和3年度の利用件数は多くありませんでしたが、令和4年度は周知が進んできたこともあり、8月末で利用件数は68件となっています。主に送迎の依頼が多いです。
土屋課長	病児保育ということで、サポート会員は看護師等の資格をもつ人が登録しているのでしょうか。 もちろん資格をもつ人もおりますが、病児に限らず送迎等の提供も行っているため、ボランティア精神や子育て支援に理解がある方の登録もあります。
小栗会長	施策131のこどもにさやしいまちづくり条例（仮称）の検討について、7月30日に「ふじみ野市こどもの未来をはぐくむシンポジウム2022」に参加させていただき、山城副会長にも子育て支援事業に関する事業の説明をしてもらいました。
朝倉委員	市内の小中学生が、こんな街にしたい、自分たちはこんなことをしている、もっといいふじみ野市になってほしいという発表をし、その発表がとても素晴らしく感動しました。 施策107の児童発育・発達支援センター事業の実施について、お礼を含めてお話しさせていただきます。 これまでは学校から安定して相談をすることが難しい状況がありましたが、公設化したことにより学校への働きかけが充実し、学校からの相談、保護者を交えての相談にも協力的になってきているので、支援が広がったとどの校長も思っています。ただ、私が勤務する学校だけでも相談人数が多くなっているため、各校の相談人数が相当多くなっているのではないかと思います。そういった意味では、対応していただく職員に負荷がかかっているのではないかと思いますので、人的な手立ても進めていく必要があると感じます。
西主幹	今年度から児童発育・発達支援センターが公設化され

	<p>たことにより市の職員が配置され、これまで支援を担っていただいていた社会福祉法人のノウハウを活用しながら事業を進めています。センターの考えとしては、関係機関にアウトリーチをして助言し支援をすることで、地域全体が発育発達に不安のある児童に関わり、携わる力が醸成されればと思っています。それにより、ふじみ野市の共生社会が実現できればと考えています。</p>
福元委員	<p>施策107の児童発育・発達支援センター事業の実施について、相談は18歳までということでしたが、未就学期・就学期はきめ細やかなサービスをしていただくのはもちろん、18歳を過ぎて次の青年期にどう繋げていくかも大事だと思うので、そのところもよろしく願います。</p>
西主幹	<p>市の関係各課との連携が重要だと考えております。切れ目ない支援ということで、障がい児から障がい者への引き継ぎについても、より一層密に連携を取って実施していこうと考えています。</p>
水流委員	<p>施策116の児童委員等による相談・支援活動の充実について、ふじみ野市では虐待や子どもに関わることがあっても、主任児童委員に情報が入ってきません。そのため、どこでなにが行われているのか分からない状況です。以前は主任児童委員には情報が入っておりましたが、最近では情報が入ってきません。</p> <p>なにか制度等の変更があるのかもしれませんが、情報が入ってくれば、以前行っていたようになにかしらの支援をしたいと思っています。</p>
土屋課長	<p>虐待に関する情報は、要保護児童対策連絡協議会にて共有をしており、そこには民生委員や児童委員の代表に出席していただいています。虐待に限らず相談支援活動についての見守り強化ということで実施しています。</p>
戸塚委員	<p>要保護児童対策連絡協議会に出席していたことがありますが、出席者に聞くことはできないのでしょうか。</p>
水流委員	<p>会長が出席していますが、内容は他のメンバーに教えることができないと言われていました。</p>
土屋課長	<p>各団体によって出席者の考えもあるのかもしれないので、要保護児童対策連絡協議会で話し合っていきたいと考えています。</p>
小林委員	<p>施策125の地域人材の有効活用と育成と、施策12</p>

6のファミリー・サポート・センターの充実について、保育園に通う子どもをもつ保護者は育児も大変ですが、精神疾患をもつ保護者が多くなっています。そのため、子どもを見ること、保育園へ連れて行くこと、迎えに行くことができないことが多くなりました。しかし、行政に相談をするとすぐにファミリー・サポートの手配をしてくれ、保護者は大変助かっています。

すぐに対応をしてくれる大切な支援だと思っております。人員確保や質が大事になってくると思います。報告の中で講座を行っているという記載がありますが、子どもの命を預かる事業なのでそのような取り組みが重要になってくると思います。保護者を守っていく上でも、今後も実施をよろしくお願ひします。

土屋課長

提供会員が増えていかないと、利用したい人が利用できない状況が発生すると思います。児童センター事業の中で組み込んで実施していますが、先日の児童センター運営協議会の中で、児童委員や民生委員にも話をしてはどうかと提案をいただきました。今後も周知の継続をしていきたいと考えています。

小林委員

提供会員が増えない理由の中に、賃金やサポート体制があるのでしょうか。困っている人が出せるお金がない時に、行政から補助があるとより事業が充実するような気がしますがいかがでしょうか。

土屋課長

現状ではサポート会員からの利用料のみであり、それ以上の報酬は出していません。提供会員からの話の聞き取りや、実施している中でなにかあればフィードバックしながら事業を実施していきたいと考えています。

川目委員

両方会員で登録をしていますが、自分にも子どもがいるのでできることもできないこともあります。

サポートタイム事業はどれくらいの方が活用して、どれくらいの方が再活動に繋がるのか気になる部分もありますが、どうしてもボランティア感覚というところが、提供会員が増えない理由ではないかと思ひます。提供会員としても、保育園までの送迎時になにかあったらどうしようと思うなど重たい仕事です。お金がどうこうということではありませんが、1時間700円だとやれる人は限られてしまうのではないかと思ひます。

養育支援訪問とファミリー・サポートの間くらいの活

小栗会長

動があるといいなと思います。

責任の重いところから位置付けを変えることで、ボランティアな方が増えることもあるかもしれませんが、現状ボランティアでやっているからこそ、もっと体制を整えてほしいなどと両者あると思いますが、貴重なご意見だったと思います。

土屋課長

養育支援員もファミリー・サポートの提供会員もボランティア保険に加入しています。その範囲内で、中間的なものができるのかどうかは研究してまいります。

戸塚委員

施策131のこどもにやさしいまちづくり条例（仮称）の検討について、子ども向けの副読本が全てひらがなで記載されていることに感動しました。外国籍でひらがなしか読めない子どもが多いので、このような資料がもっと出てくるといいなと思います。

小栗会長

それでは、②子ども・子育て支援事業計画施策一覧進捗管理表についてはご承認いただいたということでしょうか。

（異議なし）

（2）その他について、なにかありますでしょうか。

事務局

事務局から2点お話しさせていただきます。

1点目ですが、子ども・子育て支援事業計画は令和7年度から次期計画となります。同時並行して子どもの未来応援プランという子どもの貧困に関する計画も策定していますが、こちらについては根拠となる法律が別なので、別部署で実施しておりました。しかし、令和5年度からこども家庭庁の設立など、子どもに関する取組に関しては、行政の中で横断的に行っていかなければならないという趣旨のもと、計画の一体化を考えています。効率的、効果的に実施できればと考えておりますが、行政がこのような方向で考えているということを委員の皆様にご報告させていただきます。

2点目ですが、本会議では来年1月末をもちまして委員の任期が終了となります。市民公募の方については、応募、選考を経て委員を担っていただいております。その「市民」という定義ですが、子育てに関する分野では、教育事務委託で他市町村から本市の小中学校へ通っている子どもの保護者もいらっしゃいます。そのような方も含めて「市民」として公募を実施させていただくこ

小栗会長

とを、この場を借りて諮らせていただきます。

ご提案のあった件について、異議はありますか。

(異議なし)

それでは、進行を事務局へ戻します。ありがとうございました。

4 閉会